

回廊性と開放性にこだわり居心地追求

和歌浦の家



▲待望のアイランド型キッチン。インパクトのあるタイル仕上げに、カウンター付きのダイニングテーブルを備え付け。

◀マットなブラックの印象もさることながら、形そのものも独創的な外観。格子の落ち着きが全体をモダンにまとめます。



設計・監理 中道哲也

株式会社
スタジオパートナー

施工 株式会社富栄建設

撮影：アトリエワンデザインスタジオ 今西 浩文



建て主さんのセンスはトイレにまでめまろなく発揮。小窓やタイルの使い方にも個性があふれています。



建て主さん自ら買い求めたお気に入りの家具がずらり。落ち着きのある無垢の床ともマッチしてお洒落感アップ。



南に面する天井高のリビングルーム。二段構えの窓からは、たっぷりと採光を取り入れ、開放感に明るさをプラス。



それぞれの天井高を変えることで、空間の用途を区切る。とともに、リビングルームのさらなる広がりを出します。



キッチンからダイニング、リビングへと奥行きのある配置。引き戸で空間を区切ることもでき、急な来客にも対応。



キッチンの対面には、光と風を取り込む東面の大きな窓。ウッドデッキへと続き引き戸で間仕切れば廊下へと早変わり。



昼とは異なる夜の雰囲気。格子からみえる明かりが家庭的な柔らかな存在感をアピールしています。

新築工事スケジュール

〈基本設計期間〉
H24年11月～H25年2月

〈実施設計期間〉
H25年2月～8月

〈見積もり依頼期間〉
H25年9月～1月

〈起工〉
H25年10月10日

〈上棟〉
H26年3月22日

〈完成・引渡し〉
H26年7月29日

住宅データ

家族構成／
ご夫婦、お子さん2人
構造／木造在来軸組工法

建築面積／
125.90㎡ (約38.08坪)

延床面積／
1F 117.62㎡ (約35.58坪)
2F 48.19㎡ (約14.58坪)
バルコニー 9.44㎡ (約2.86坪)
カーポート 27.49㎡ (約8.32坪)
サービスコート 5.86㎡ (約1.77坪)
計 208.60㎡ (約63.10坪)

敷地面積／
277.68㎡ (約84.00坪)

屋根／
ガルバリウム鋼板タテハゼ葺

外壁／防火サイディング貼、ウレタン塗装

設計・監理



モットー 建て主・施工者・設計者 三位一体

中道哲也 *Tetsuya Nakamichi*

株式会社スタジオパートナー

1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級建築士。

施工



株式会社
富栄建設

建て主さんの声

建てようネットでの家づくりを選んだのは、自分たちのイメージに合う方を探すことができたこと、建築家と会う機会を作ってもらえるので敷居が低くなったこと、間に入ってくれることで一種の保険のような信用が得られると感じたからです。マットブラックの外観や、無垢の床やタイル等の内装、間取り、気密断熱等の性能面もこだわりの詰まった家になったと思います。建築家との家づくりは可能性が無限にあるので自分たちのこだわりを追求できる良い面がある一方、追求しすぎて決断に苦勞することもありますが、プロ目線のサポートのおかげでこだわって良かったと思える家が完成し、とても満足しています。

建てようネット
【和歌山】で建てた
新築

第86号

室内もこだわり抜いた造り。デザインは、ご主人と一緒に試行錯誤した回廊性と開放性が特徴です。白をベースにした明るさと開放感に、色合いをおさえた無垢の床をあわせて、落ち着いたあるナチュラル感をプラス。玄関から廊下、リビング、キッチン、ダイニング、和室といずれも引き戸の建具で間仕切れば、ゆるゆると回れる回廊性のある生活動線。変えて引き戸を開け放せば、廊下からウッドデッキまでを室内として取り込める大空間が出現します。

生活空間のベースは1階。主寝室から家族4人分の衣類を収納する7畳の大型ウォークインクローゼットまで配置。2階には子ども部屋と、音楽に精通するご主人の趣味部屋が設けられています。キッチンは奥様の念願だったアイランド型です。インパクトのあるタイル仕上げでカウンタートップとダイニングテーブルが一体になったオリジナルデザインの家具を備え付け、横にも縦にも動ける家事動線。さらに驚きは、家事効率をアップさせるスムーズな間取り。キッチンの横には洗濯機のある洗面室。すぐそばの勝手口からは専用の物干し場へ洗面室からは直接ウォークインクローゼットにも続き、すべてにおいて無駄なく機能性と居住性を高めています。

84坪という広い敷地面積を生かして、建て主さんと建築家と施工業者の三者が一体となってつくり上げた「和歌浦の家」。建築家はご存知、御坊事務所を拠点に、和歌山事務所、田辺事務所と、地域に寄り添うコミニティを大切に、デザイン力とチームワークで活動の幅を広げる株式会社スタジオパートナーの中道哲也さん。施工業者は、現場でのきめ細かな対応と職人技に定評がある「富栄建設」。建て主さんが生まれ育った場所に住まいを建て、家庭を築き、憧れのマイホームで新たな歴史を刻み始めています。

「ご主人の中のとらえ方と理想のイメージ。それらを具体化するために、何度も図面のやりとりをさせてもらいました。時には、ご主人もご自身で図面や間取りを描いて内容をすり合わせ。家族それぞれが自分らしく、安心快適に暮らせる、夢のマイホームに近づいたと思います」と中道さん。もともと土地の形が縦長で、車の往来がある道路が南面と東面に位置。耐震性や気密性はもちろん、光や風の入射角度まで緻密に計算し、建築的な技術と工夫で、住まいに心地良い生活環境をつくり上げています。「外観はマットなブラックに、木製の塀や格子をあわせてモダンな印象に。大型のアルミカーポートがスタイリッシュにマッチする全体バランスにも、建て主さんの個性が表れています」。